

2024 年度 卒業生調査 結果報告書

2025 年 3 月

東海学園大学

企画財務部 企画広報課

I. 調査概要

【調査の目的】

本調査の目的は、卒業生による本学の教育への評価や卒業後の状況を把握し、それをもとに本学の教育成果を検証することです。

【調査対象】

2016 年度入学生（2019 年度[2020 年 3 月]卒業）

2018 年度入学生（2021 年度[2022 年 3 月]卒業）

【調査期間】

2024 年 11 月 18 日(月) ～ 2024 年 1 月 12 日(日)

【実施方法】

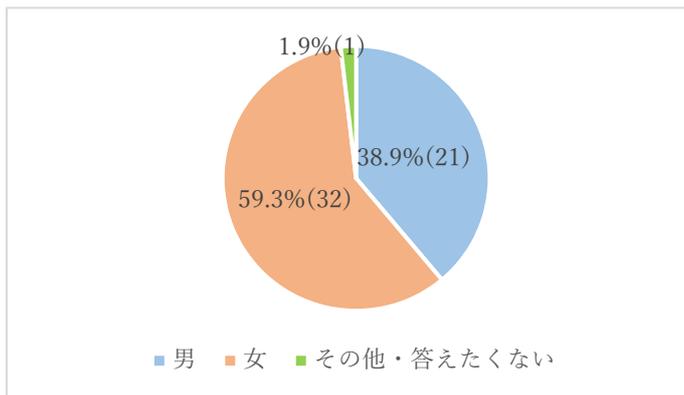
Web アンケート（郵送による調査依頼）

【回答数】

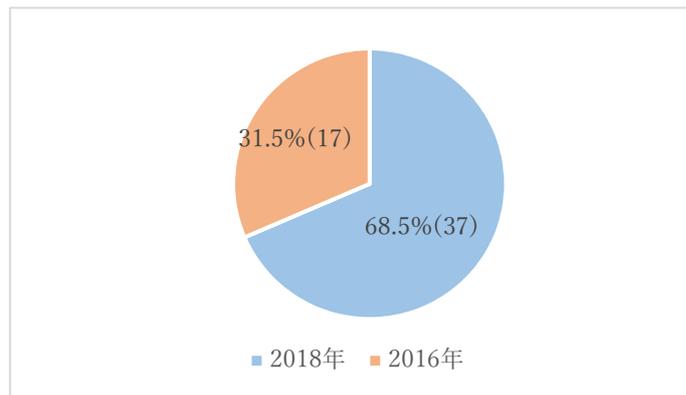
54 件（発送数：1508 件） 回答率：3.58%

II. ご自身についてお尋ねします

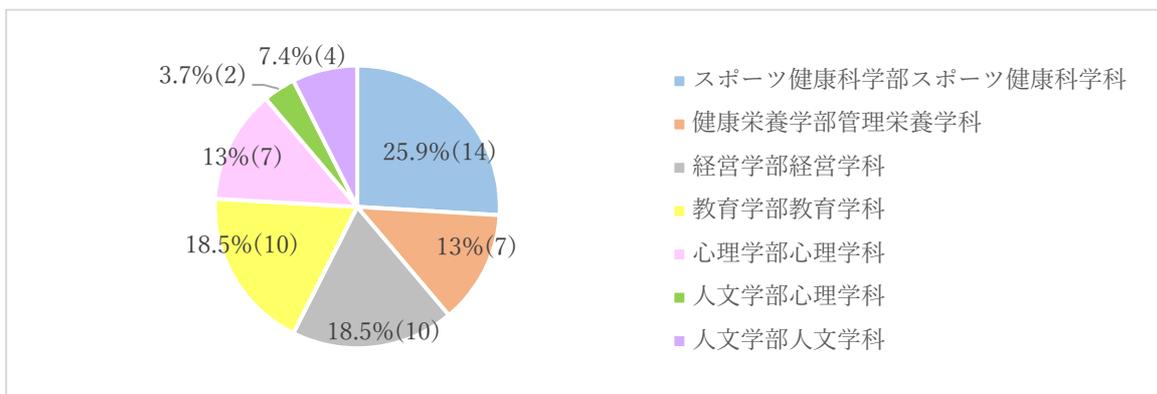
Q1 あなたの性別を教えてください



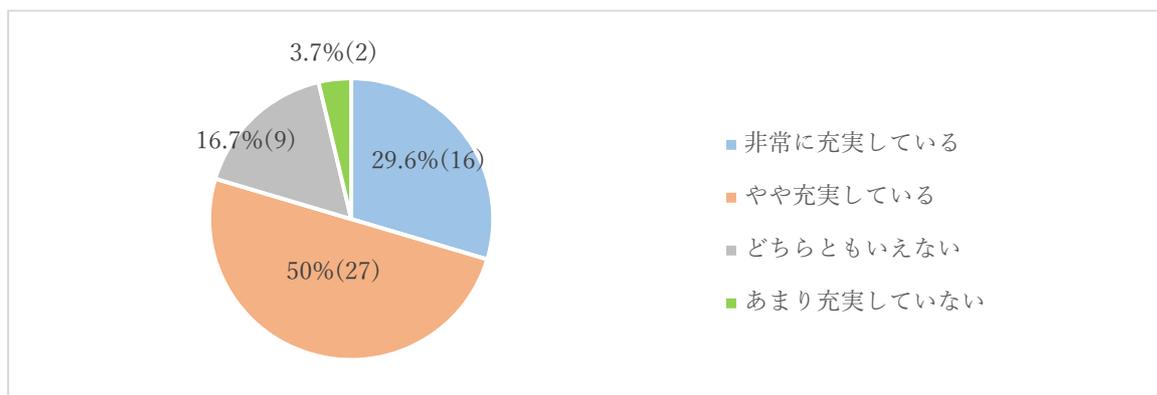
Q2 あなたの入学年を教えてください



Q3 あなたの卒業した学部学科を教えてください



Q4 現在あなたは充実した生活を送っていますか



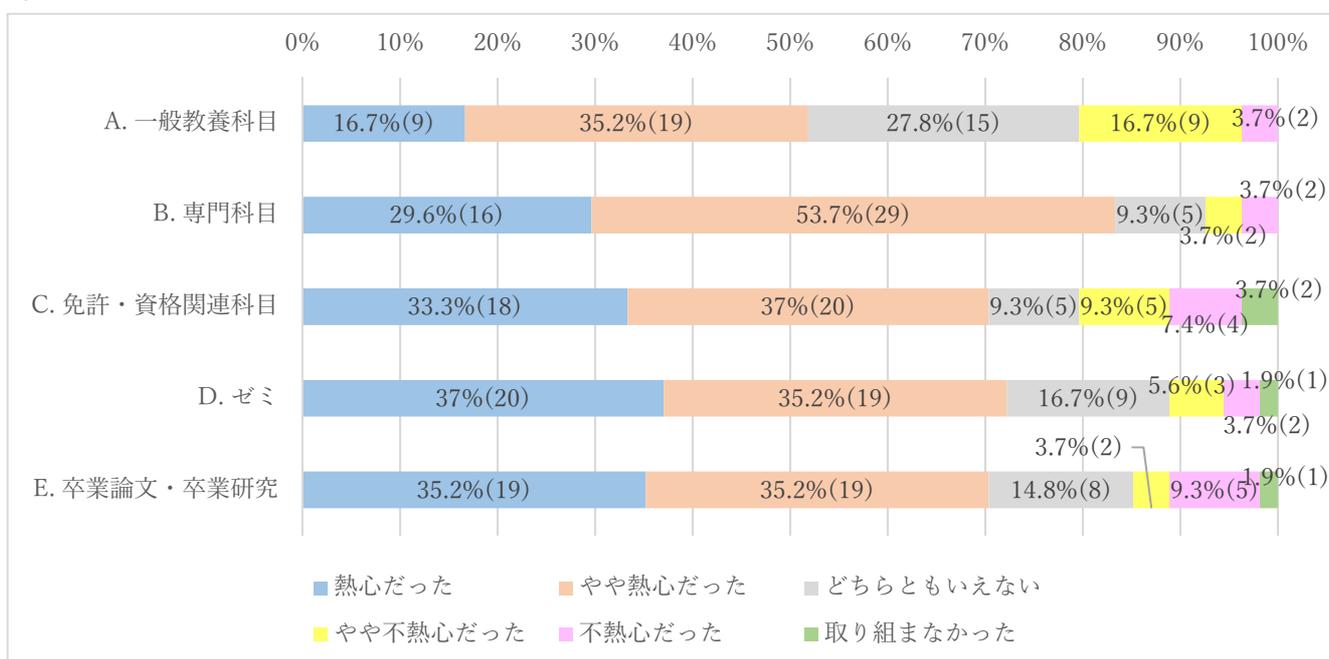
2. 大学時代についてお尋ねします

【Q5～Q9】

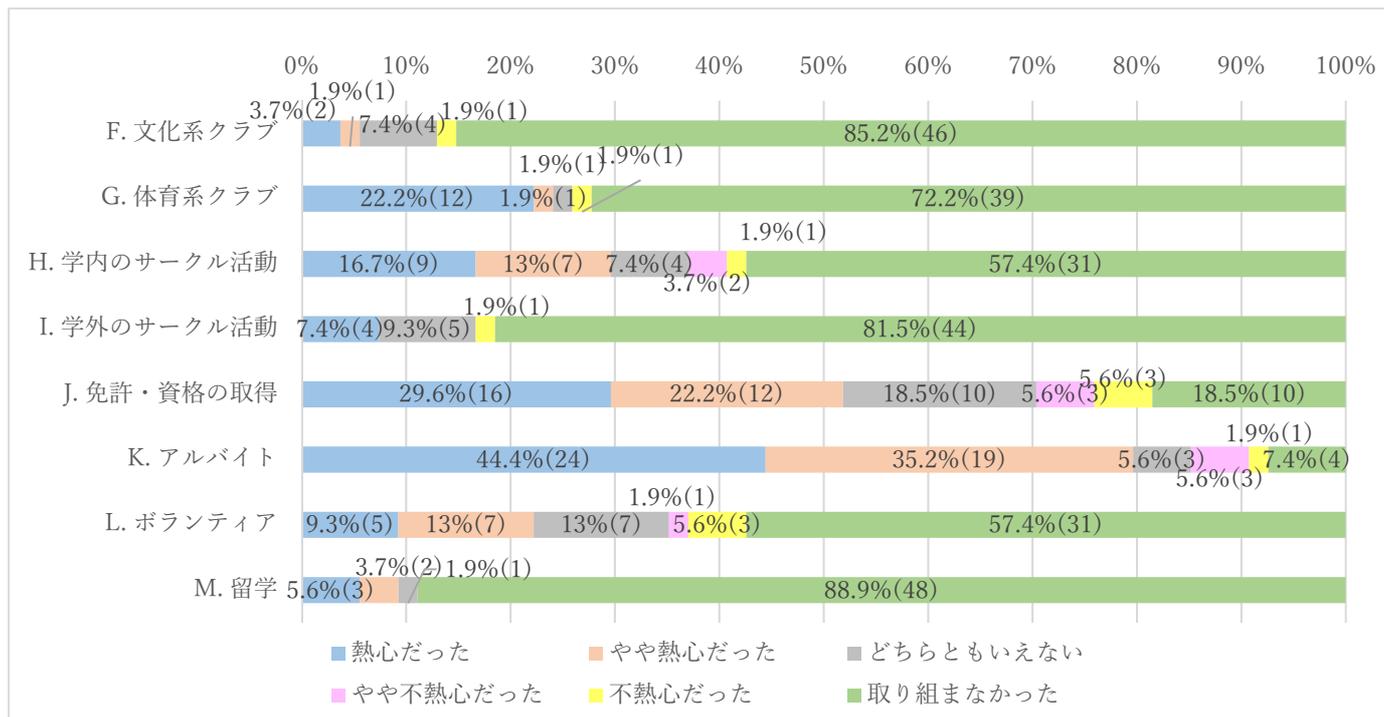
正課の活動において、専門科目、免許・資格関連科目、ゼミ、卒業論文・卒業研究といった所属学部の専門性を身に着けることに「熱心だった」または「やや熱心だった」と回答した割合が70%を超えました。正課外活動においては「アルバイト」「免許・資格の取得」の順で「熱心だった」または「やや熱心だった」と回答した割合が高くなったが、「留学」は「熱心だった」または「やや熱心だった」と回答した割合は9.3%に留まりました。今年度調査対象となっている1学年（2018年度生）はコロナ禍の影響があった学年であるが、割合は昨年度の7.6%よりわずかに増加しました。

在学中の活動を振り返って「多様な価値観を理解し尊重する力」が「大きく増えた」「増えた」と回答した割合が約70%となり、次いで「コミュニケーション能力」「ディスカッション能力」「人間関係構築力」について「大きく増えた」「増えた」と回答した割合が約60%を超えました。これらのうち「コミュニケーション能力」「人間関係の構築力」「多様な価値観を理解し尊重する力」は、卒業生が社会人となって最も重要と思う能力にも挙げられています。またQ9全体では「専門科目」「ゼミ」が多く選択されていました。

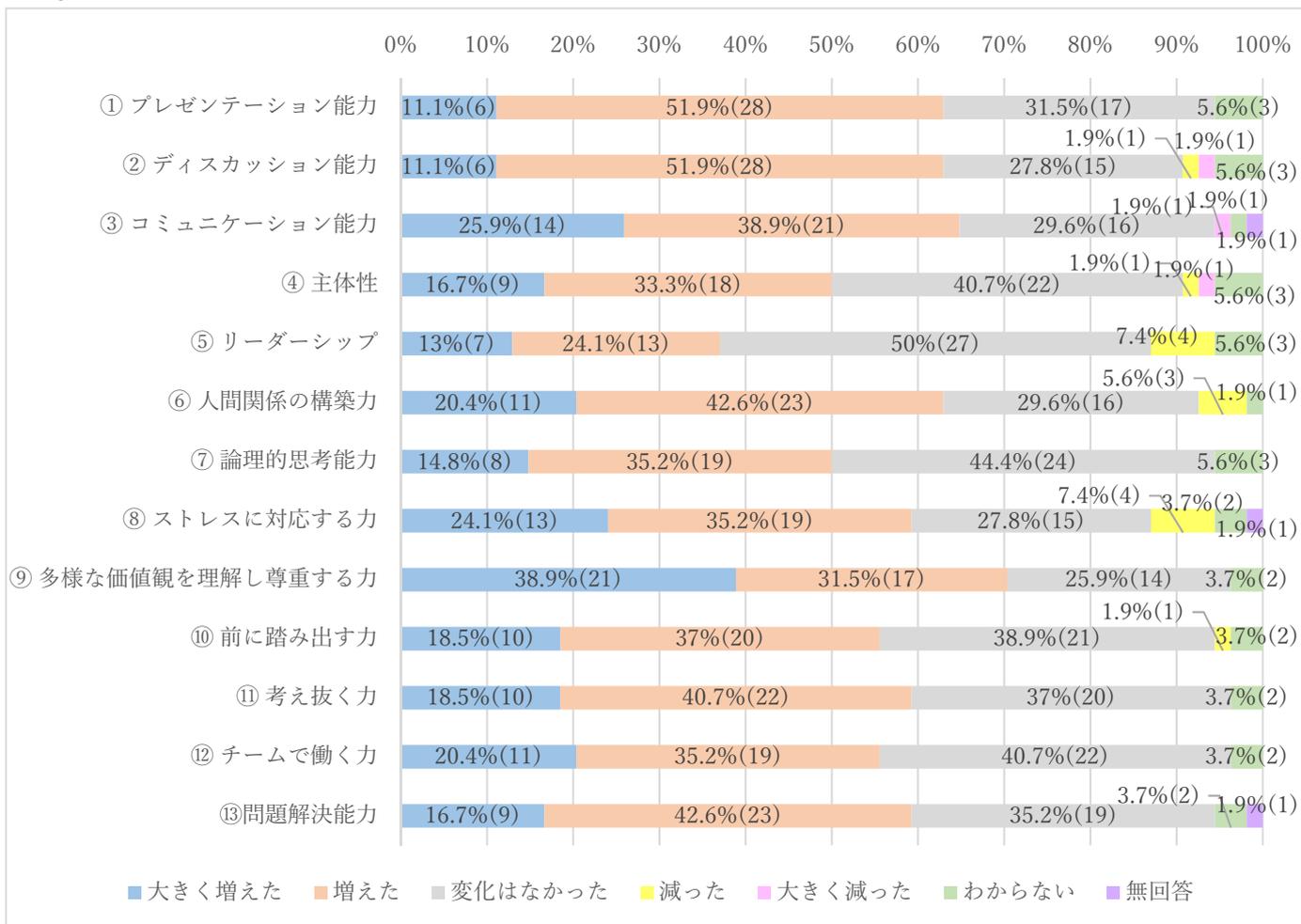
Q5 大学の授業科目について、どの程度熱心に取り組みましたか



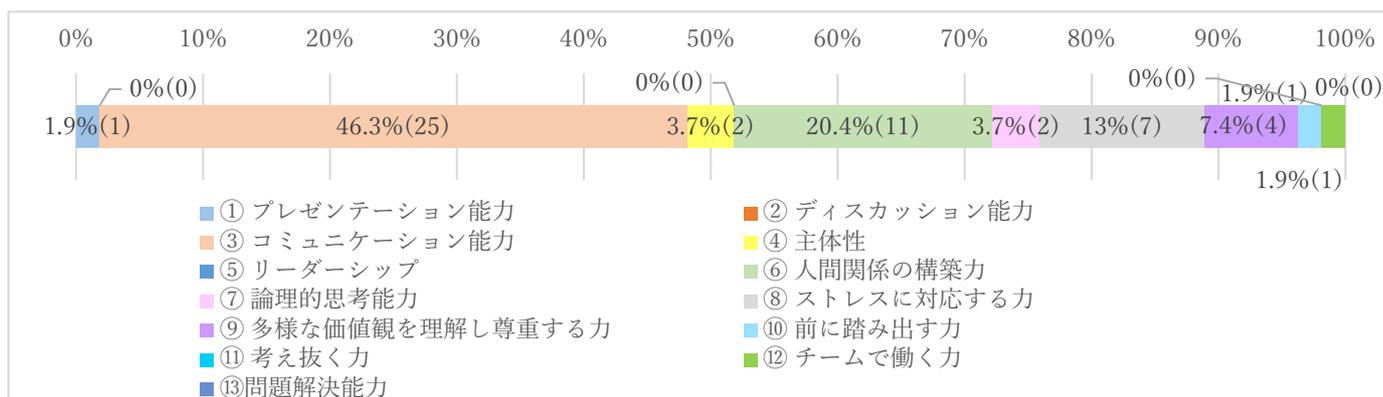
Q6 課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか



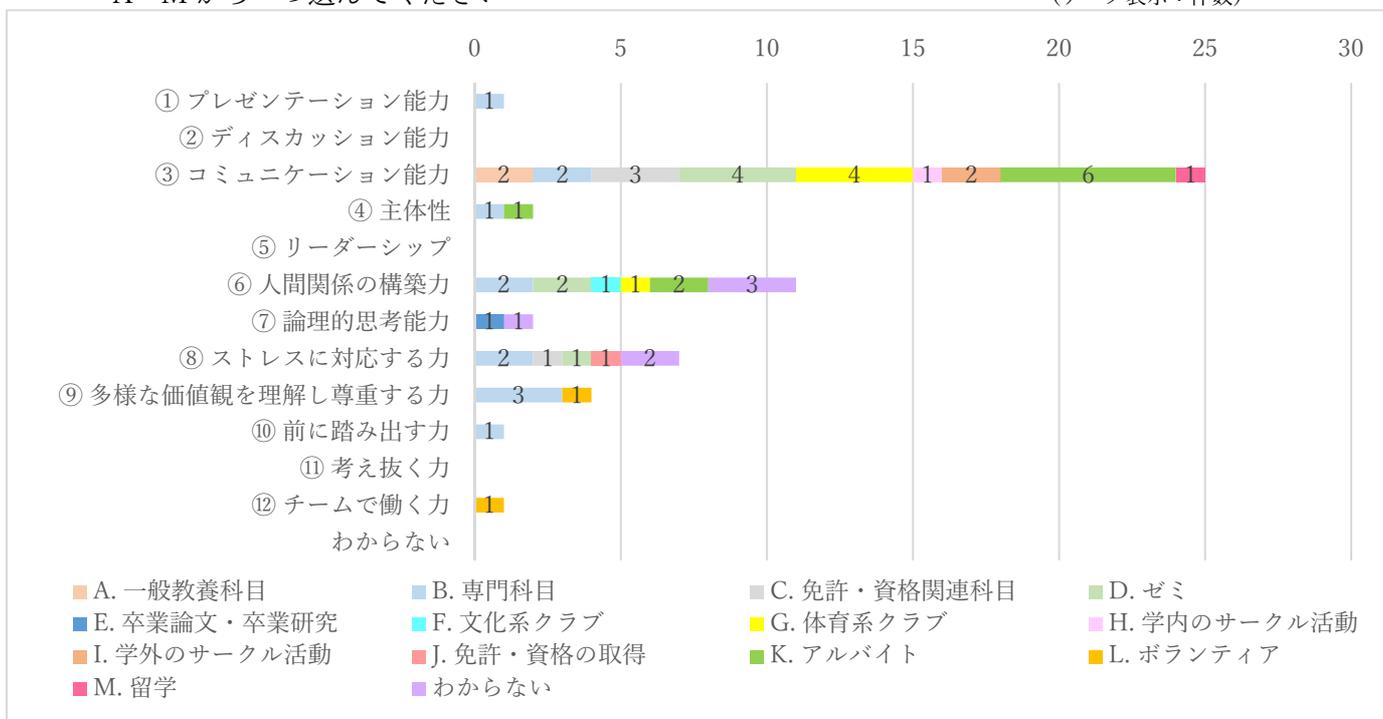
Q7 在学中を振り返って、以下の能力はどのように変化しましたか



Q8 Q7の①～⑫の能力のうち、大学卒業後の経験を踏まえて最も重要と思うものを一つ選んでください



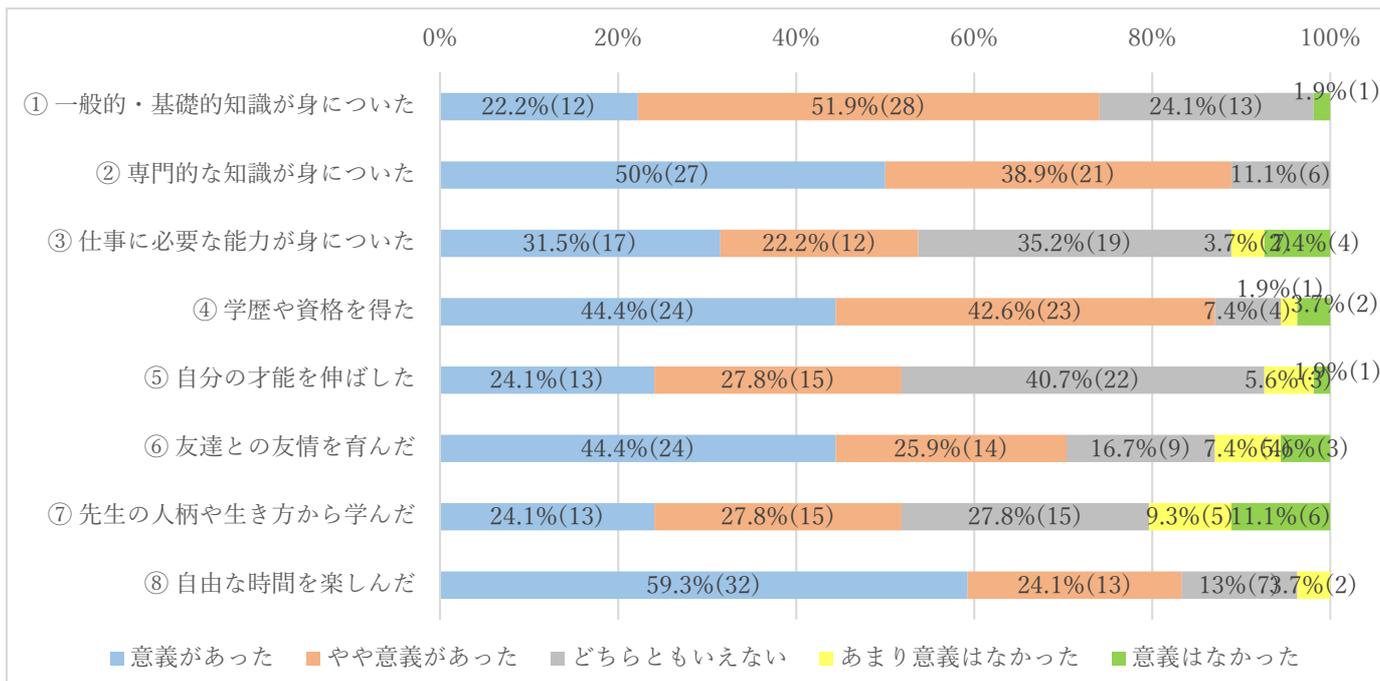
Q9 Q8で選んだ能力を身につける上で最も役立つと思う大学時代の取り組みを、Q5, Q6のA～Mから一つ選んでください (データ表示: 件数)



【Q10～Q12】

Q10の大学に通った意義として「専門的な知識が身についた」次いで「学歴や資格を得た」が多く、85%以上が「意義があった」または「やや意義があった」と回答しています。さらにQ11の大学に通った意義のうち今最も重要と思うものについて、「専門的な知識が身についた」「仕事に必要な能力が身についた」「学歴や資格を得た」が全体の51.9%となりました。また、Q12でQ11の意義を得る上で大学時代の取り組みとして役立つものについて「専門科目」「免許・資格関連科目」の回答が多く、正課の活動を通して得られた力に意義を見出す卒業生が多くなりました。

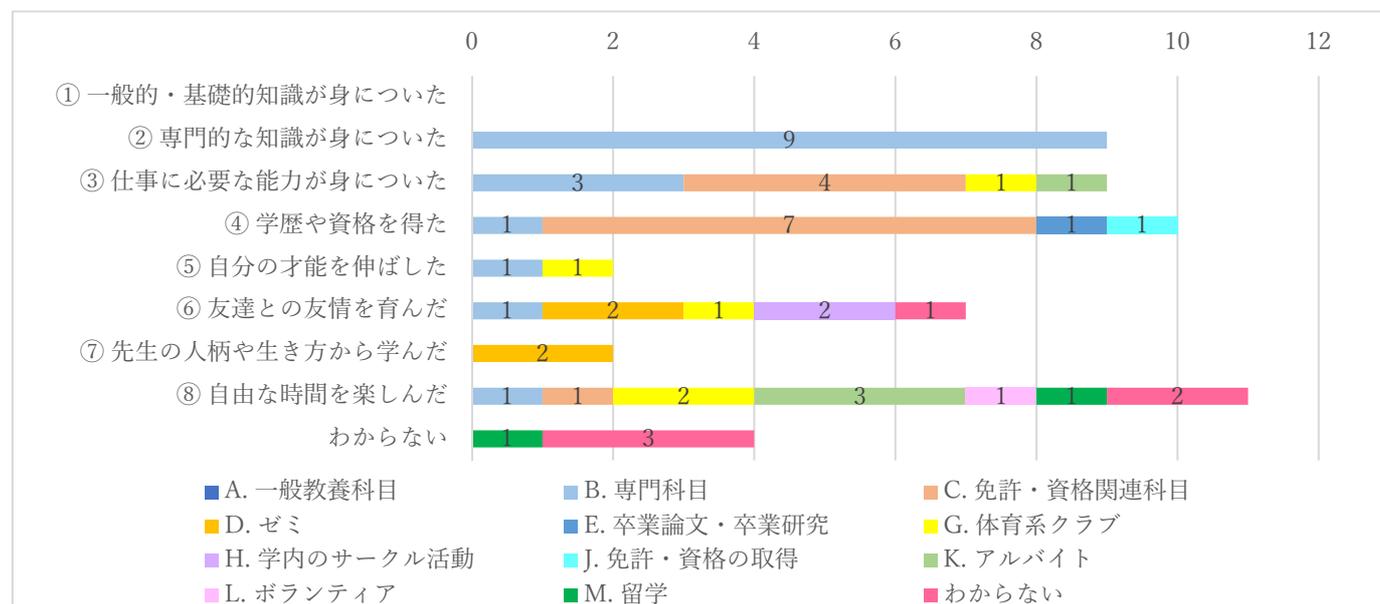
Q10 大学に通った意義について伺います



Q11 Q10の①～⑧の意義のうち、今もっとも重要と思うものを一つ選んでください



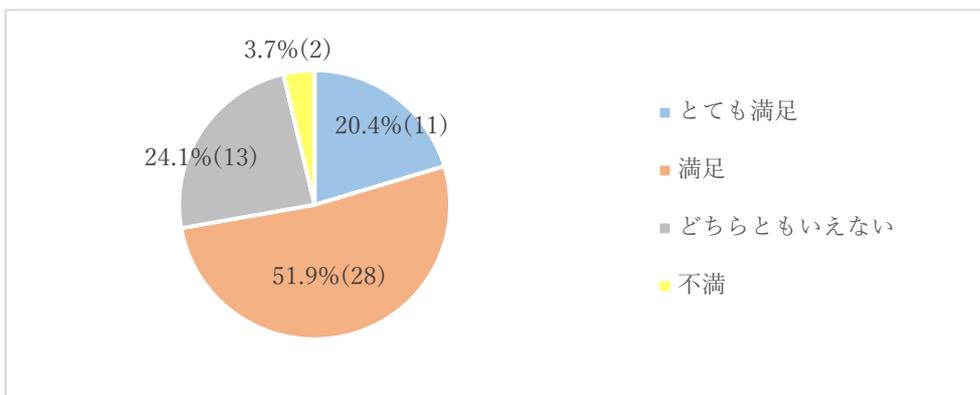
Q12 Q11で選んだ意義を得る上でもっとも役立ったと思う大学時代の取り組みを、Q5, Q6のA～Mから一つ選んでください。(データ表示：件数)



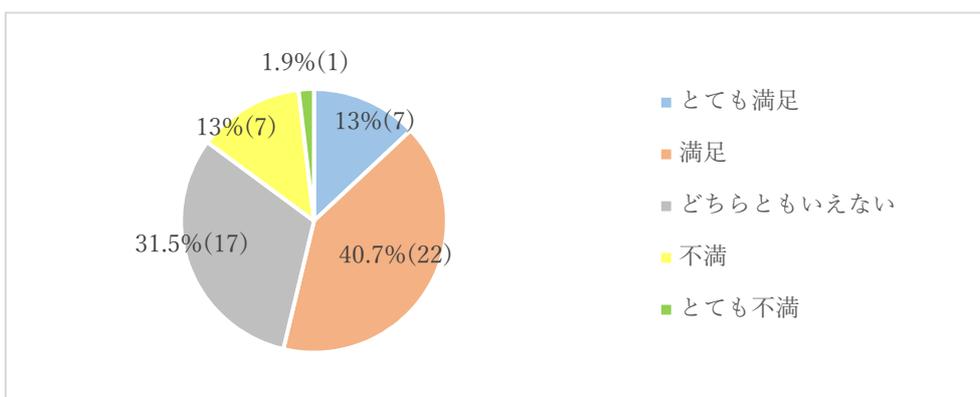
【Q13～Q16】

Q13,14 の本学に対する卒業生の評価として 72.3%が教育やサービスに満足していると回答しています。また 53.7%が学生サービスやサポートに満足していると回答している一方、「不満」「とても不満」の回答が 14.9%ありました。Q15 のキャンパス環境・学生サービスで改善してほしいと思っていたものでは、「コンビニ」22.2%、「食堂」16.7%の回答がありました。Q16 の本学に対する評価として、大いに評価が上がった」「少し評価が上がった」の回答が 51.1%となりました。

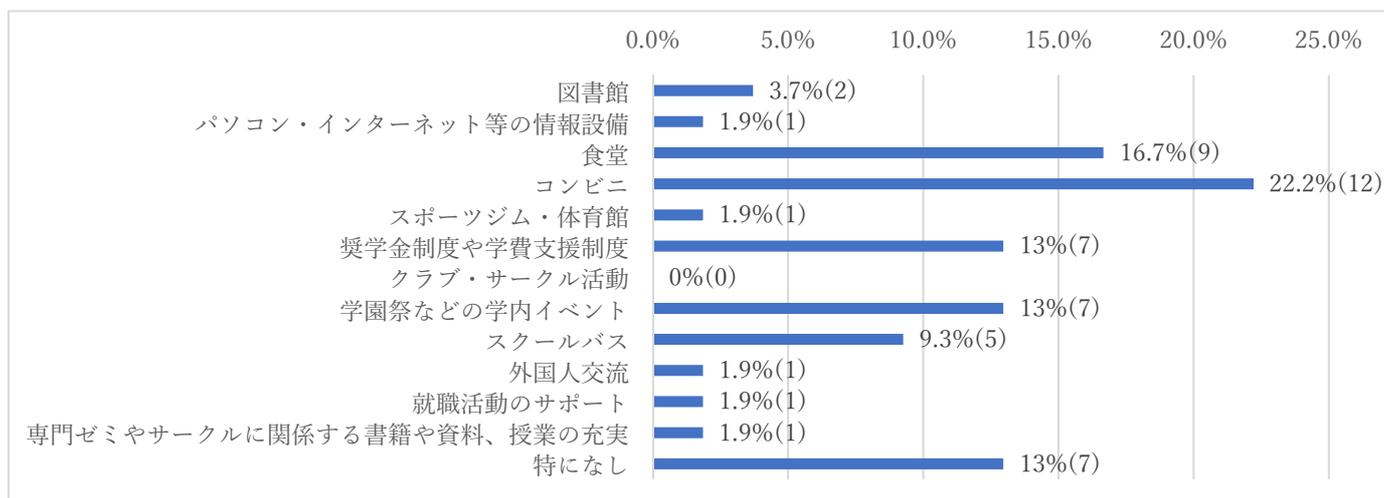
Q13 東海学園大学で受けた教育やサービスに対して満足していますか



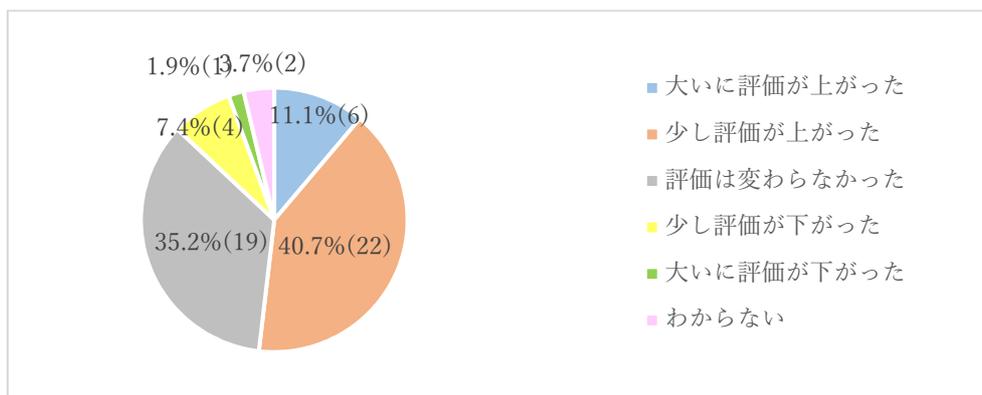
Q14 東海学園大学で受けた学生サービスやサポートに対して満足していますか。



Q15 キャンパス環境・学生サービスで改善してほしいと思っていたものはなんですか。



Q16 東海学園大学に対する評価は、入学前と卒業後で変わりましたか。

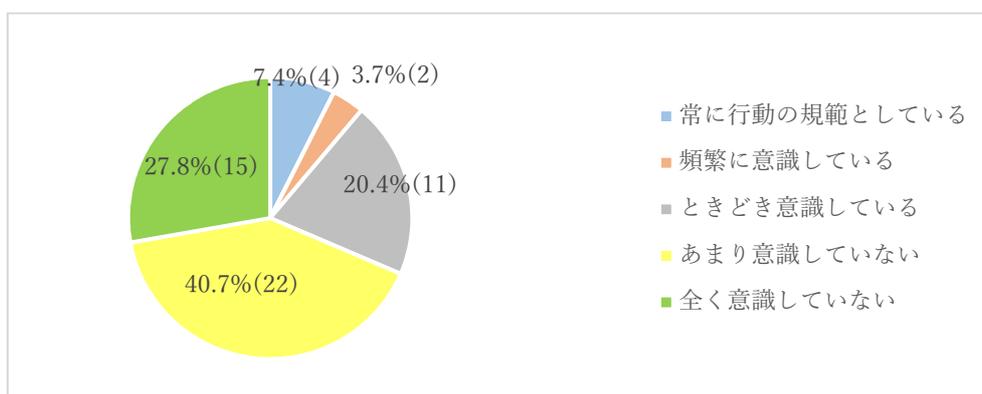


3. 大学とのつながりについてお尋ねします

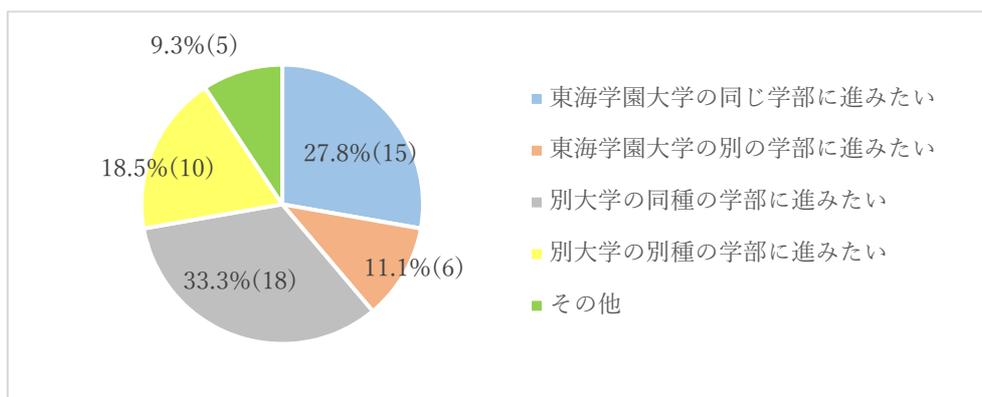
【Q17~Q20】

Q17の「共生」の意識については「あまり意識していない、全く意識していない」が68.5%となり、意識の定着にまでは至っていない結果となりました。Q18の「改めて大学に進学するとしたら」という問いに対しては、「東海学園大学の同じ学部、別の学部に進みたい」の回答が38.9%、「別大学の同じ学部、別種の学部に進みたい」の回答が51.8%となりました。Q19の「社会講座などの学ぶ機会があるとしたら」という問いでは、「在学時とは別の専門領域を深く学びたい」の回答が最も多く31.5%となりました。Q20の「卒業後の本学とのつながり」については「同窓とのつながりを保っている」「本学に寄付をしたことがある」が共に25.9%となった一方、「つながりはない」の回答が44.4%で最も多くなりました。

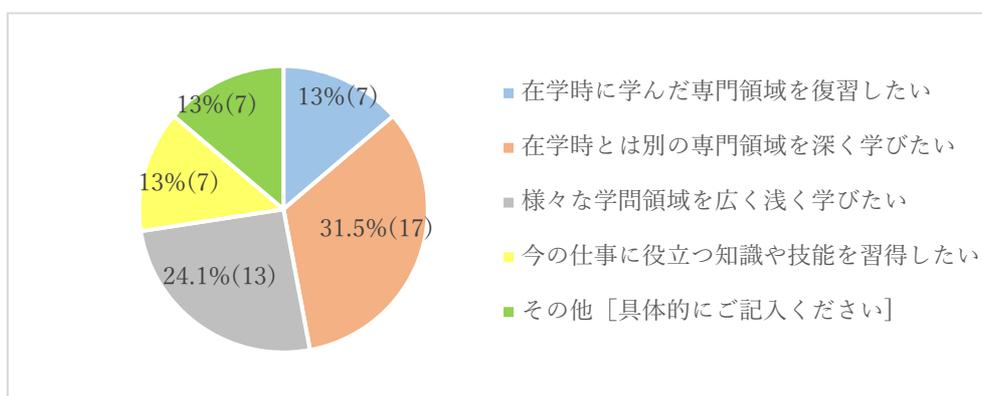
Q17 東海学園大学の教育の理念「共生」を普段どの程度意識していますか。



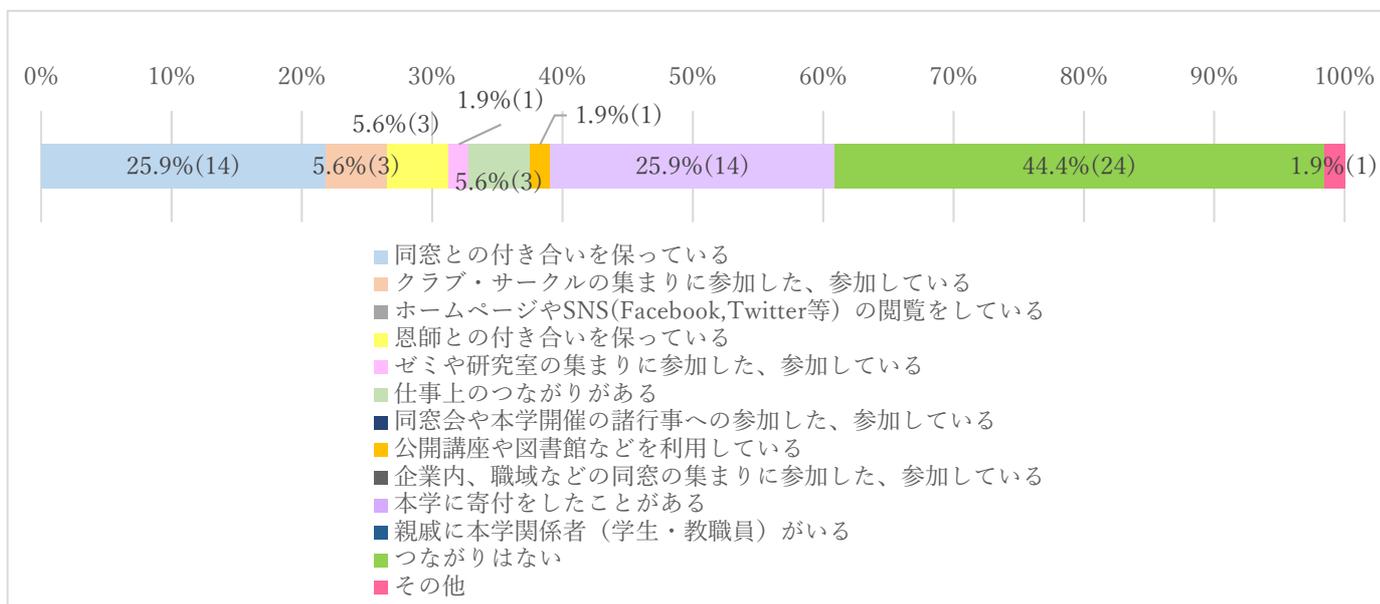
Q18 もしも、高校に戻って改めて大学に進学するとしたら本学を希望されますか。それとも他大学を希望されますか。



Q19 今後、東海学園大学でふたたび学ぶ機会（社会人講座など）があるとしたら、どのような希望がありますか。



Q20 卒業後、本学とどのようなつながりがありますか。【複数選択可】

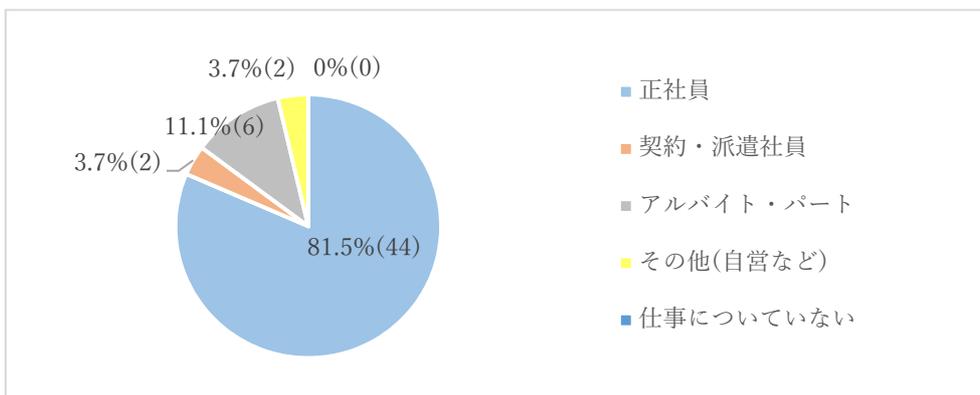


4. 卒業後のお仕事についてお尋ねします

【Q21~Q23】

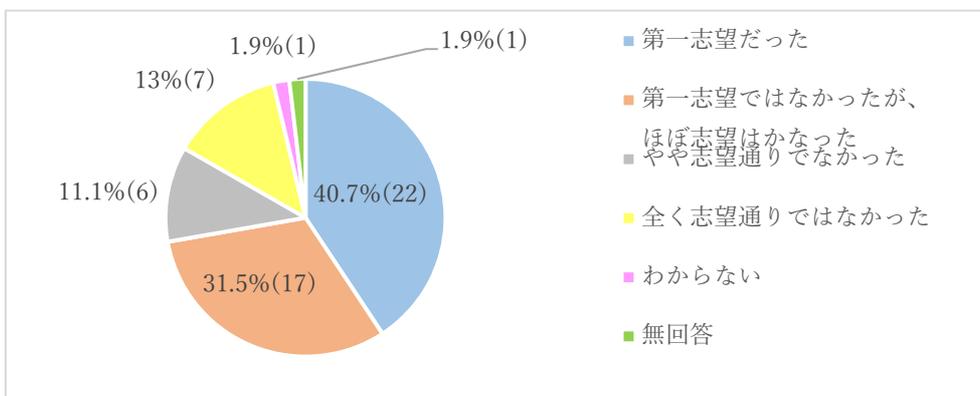
卒業後初めて就いた会社について、Q21の雇用形態は「正社員」が最も多く81.5%を占めました。Q22の志望については、第一志望またはほぼ志望通りであったと回答した割合が72.2%、志望通りではなかったと回答した割合が24.1%でした。Q23の勤務年数については「1年未満」および「1年~3年未満」の合計が61.1%となりました。

Q21 卒業後初めて仕事に就いた会社（団体）での雇用形態を選択してください。



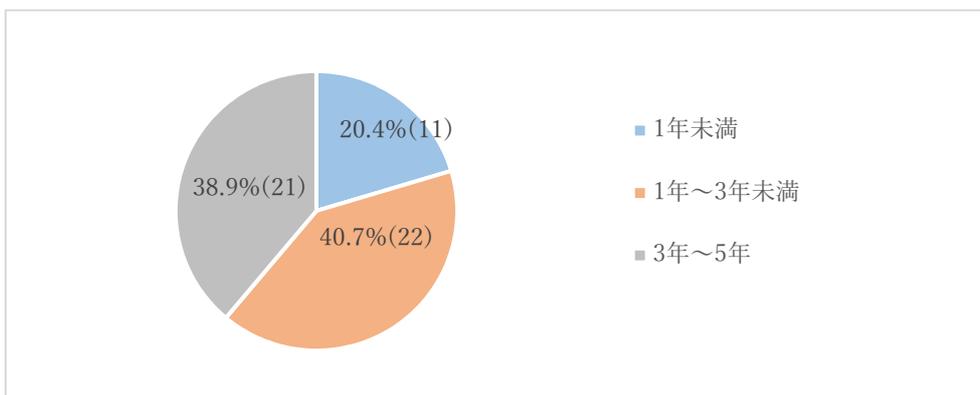
Q22 卒業後初めて仕事に就いた会社（団体）については、志望度通りでしたか。

※Q19で「5」を選択した方は回答不要です。



Q23 卒業後初めて仕事に就いた会社（団体）には何年間勤めましたか。

※Q19で「5」を選択した方は回答不要です。



本調査の自由記述回答について

本調査では、「Q24 大学時代に受けた教育や本学に対するご意見・ご感想、あるいは本学の後輩に対するメッセージなど自由に記入してください。」という設問に対し自由記述の回答をいただきました。いただいたご意見は「学園祭実行委員での経験」「大学生活の意義」「学生支援への提案」「学生生活へのアドバイス」「大学生活の感謝」「図書館の魅力」「卒業式への意見」「大学での学び」「同窓会開催の希望」「教職課程の経験」というテーマに分類されました。これらのご意見について、原意を損なわないよう配慮しながら概要を整理しましたので、以下に報告いたします。

・学園祭実行委員での経験

人間関係の困難を乗り越え、強く成長しました。ゼミの先生の助言で3年続けた職場では、職場環境や人間関係に満足しています。

・大学生活の意義

大学時代を楽しむことは重要だが、将来を見据えた学びが就職後に役立ちました。また、サークル活動で築いた人脈が社会人になってからも生きてきます。

・学生支援への提案

コロナ禍でも有意義な4年間だったが、個別支援が弱いと感じました。今後の学生支援の改善を期待しています。

・学生生活へのアドバイス

自由な時間を活かし、勉強や旅行など人生経験を積むことが重要です。また、貯金も社会人生活を迎えるにあたり、備えておくと思います。

・大学生活の感謝

理想的なキャンパスではなかったが、友人や先生との出会いに感謝しています。卒業後も友人と仲良くしており、充実した大学生活でした。

・図書館の魅力

図書館は快適な場所で、多様な本との出会いが得られました。

・卒業式への意見

コロナ禍で卒業式や謝恩会ができなかったため、その分の還元を求めたいです。

・大学での学び

勉強嫌いだったが大学で学ぶ楽しさを知り、得意分野も発見しました。また、多様な授業や活動を通じて充実した時間を過ごしました。図書館での本との出会いも大きな財産です。

・同窓会開催の希望

コロナ禍で卒業式ができなかったため、学部ごとの同窓会開催を希望しています。

・教職課程の経験

教職課程は大変だったが、仲間と頑張ったことに価値を感じています。栄養教諭として働く中で、役割を知らない先生方が多い現状にも気づけました。